

夏ニラの葉先枯れ抑制技術

農業研究部

1. 研究の背景

夏期に出荷するニラでは、強日射や高温により発生する葉先枯れが市場評価を下げる要因になっているため、遮光資材の展張による葉先枯れ抑制技術を開発した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

・梅雨明けからの高温期に、遮光資材「ふあふあSL40」(遮光率38～43%)をハウス天井中央部に被覆すると、気温の上昇が抑制され、南北棟ハウスでは葉先枯れの発生が抑えられた。(図1、2、3、4)

・遮光による収量の低下はなかった。(データ略)



図1 天井中央部に被覆 (南北棟ハウス)

被覆期間: 2013年7月16日～8月12日、遮光資材の幅: 3.6

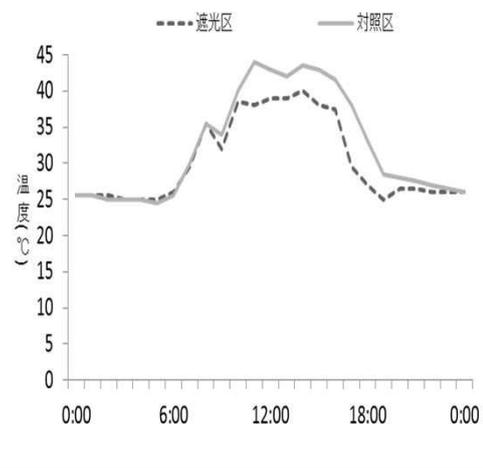


図2 ハウス内気温の推移

2013年8月7日(日中晴天)

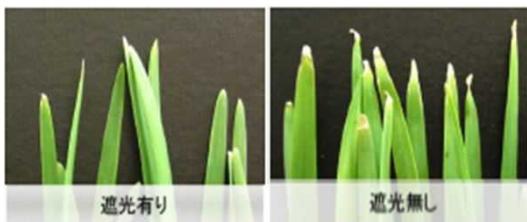


図3 葉先枯れの症状

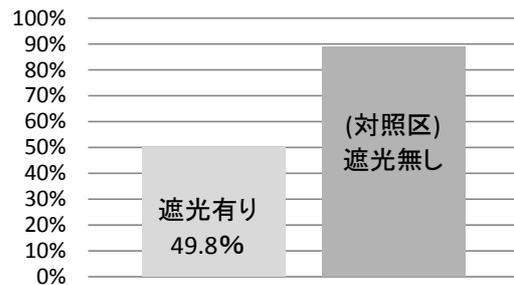


図4 葉先枯れ発生率

調査日: 2013年8月12日

(葉先枯れは1mm以上の枯れがある茎数を調査した。)

・東西棟ハウスでは遮光ムラが生じるため、気温の上昇抑制効果及び葉先枯れ抑制効果は判然としない。

3. 期待される効果

・夏期の品質向上により市場評価が向上し、農家所得が増加する。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部 葉根菜類・茶業チーム

TEL : 0974-28-2082

住所 : 豊後大野市三重町赤嶺 2 3 2 8 - 8